

平成22年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ティムコ

コード番号 7501 URL <http://www.tiemco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 霜田 俊憲

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 平成22年10月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年11月期第3四半期の業績(平成21年12月1日～平成22年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第3四半期	2,038	0.3	14	△43.2	29	△20.7	12	△45.0
21年11月期第3四半期	2,032	—	26	—	37	—	23	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年11月期第3四半期	4.58	—
21年11月期第3四半期	8.33	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
22年11月期第3四半期	8,067		6,900		85.5	2,447.08
21年11月期	8,145		6,953		85.4	2,465.90

(参考) 自己資本 22年11月期第3四半期 6,900百万円 21年11月期 6,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年11月期	—	0.00	—	22.50	22.50
22年11月期	—	0.00	—		
22年11月期(予想)				22.50	22.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年11月期の業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,755	0.6	42	25.9	58	26.8	20	23.6	7.33

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年11月期3Q 3,339,995株 21年11月期 3,339,995株

② 期末自己株式数 22年11月期3Q 520,091株 21年11月期 520,061株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 22年11月期3Q 2,819,917株 21年11月期3Q 2,819,950株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、【添付資料】P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
【第3四半期累計期間】	6
【第3四半期会計期間】	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	10
品目別売上高明細	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年8月31日）における日本経済は、新興国の需要拡大や政府の経済対策等により一部に景気の持ち直しが見られるものの、依然として続く厳しい雇用情勢や所得環境から、個人消費は引き続き低迷し厳しい状況で推移しました。

また、当社の属するアウトドア関連産業につきましては、一部には好調な分野があったものの、消費者の節約志向が続く中、高額品を中心に苦戦を強いられました。

こうした状況の中、当社では、売上規模の拡大よりも利益体質を強化することに努め、営業活動を続けてまいりました。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は20億38百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。

利益につきましては、販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、個人消費の低迷による販売価格の下落が影響し、営業利益は14百万円（前年同四半期比43.2%減）、経常利益は29百万円（前年同四半期比20.7%減）、四半期純利益は12百万円（前年同四半期比45.0%減）となりました。

<フィッシング用品>

フィッシング用品に関しては、フライ用品の販売が比較的堅調に推移した一方で、ルアーロッド（釣り竿）をはじめとするルアー用品や偏光サングラス等において高額品を中心に販売が苦戦いたしました。その結果、フィッシング用品の売上高は9億73百万円（前年同四半期比4.9%減）となりました。

<アウトドア用品>

アウトドア用品に関しては、男性物衣料が苦戦したものの、女性の登山やアウトドアスポーツに対する関心の高まりなどが追い風となり、女性物衣料及びバッグ、ザック等のアクセサリ類を中心に比較的堅調に推移いたしました。その結果、アウトドア用品の売上高は、10億52百万円（前年同四半期比5.9%増）となりました。

<その他>

その他の主な内容は、損害保険代理業の手数料収入ならびに不動産賃貸収入売上であります。当第3四半期累計期間に関しては、不動産賃貸収入の減少により、その他売上高は12百万円（前年同四半期比23.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

①資産

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ78百万円減少し80億67百万円となりました。

流動資産は、季節的な影響による商品棚卸高の増加などにより、前事業年度末に比べ11百万円増加し、46億24百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産の減価償却の実施、投資その他の資産の保証金の償還36百万円などにより、前事業年度末に比べ89百万円減少し34億42百万円となりました。

②負債

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ24百万円減少し11億66百万円となりました。

流動負債は、前期末の未払賞与の支払いによる減少などが影響し、前事業年度末に比べ26百万円減少し6億49百万円となりました。

固定負債は、長期リース債務が13百万円減少する一方、退職給付引当金、役員退職慰労引当金が増加したことにより、前事業年度末に比べ1百万円増加し5億16百万円となりました。

③純資産

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ53百万円減少し69億円となりました。こ

れは主に、四半期純利益12百万円の発生的一方、前事業年度決算に係る配当支出63百万円などによる利益剰余金の減少によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ6億64百万円減少し、5億69百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、53百万円(前年同四半期の使用した資金は1億31百万円)となりました。これは主に税引前四半期純利益の発生28百万円、減価償却費65百万円、売上債権の減少39百万円などの資金の増加の一方、たな卸資産の増加1億68百万円などの資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5億35百万円(前年同四半期の得られた資金は1億86百万円)となりました。これは主に、定期預金の組替えによる差額支出3億99百万円や有価証券の取得と償還の差額支出60百万円、投資有価証券の取得1億円などの資金の支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、76百万円(前年同四半期の使用した資金は75百万円)となりました。これは主に、リース債務の返済による支出13百万円、前事業年度決算に係る配当による支出63百万円などの資金の支出によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成22年1月18日発表の「平成21年11月期 決算短信（非連結）」に記載の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況について著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,629,582	1,592,473
受取手形及び売掛金	469,316	513,300
有価証券	1,364,498	1,506,501
商品及び製品	1,089,122	926,527
その他	73,378	75,944
貸倒引当金	△1,408	△1,517
流動資産合計	4,624,488	4,613,231
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	849,090	878,684
土地	2,011,097	2,011,097
その他（純額）	38,268	39,502
有形固定資産合計	2,898,456	2,929,283
無形固定資産	59,208	69,166
投資その他の資産	485,179	533,753
固定資産合計	3,442,844	3,532,204
資産合計	8,067,333	8,145,435
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	515,204	496,593
未払法人税等	16,610	12,361
返品調整引当金	9,073	24,500
賞与引当金	18,021	—
店舗閉鎖損失引当金	—	11,065
その他	90,953	131,685
流動負債合計	649,862	676,206
固定負債		
退職給付引当金	120,157	113,981
役員退職慰労引当金	350,687	342,067
その他	46,081	59,501
固定負債合計	516,927	515,550
負債合計	1,166,790	1,191,756

（単位：千円）

	当第3四半期会計期間末 （平成22年8月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成21年11月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	2,252,517	2,303,041
自己株式	△290,211	△290,193
株主資本合計	6,903,753	6,954,295
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,209	△616
評価・換算差額等合計	△3,209	△616
純資産合計	6,900,543	6,953,679
負債純資産合計	8,067,333	8,145,435

(2) 四半期損益計算書
【第3四半期累計期間】

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成20年12月1日 至平成21年8月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成21年12月1日 至平成22年8月31日）
売上高	2,032,991	2,038,187
売上原価	1,014,961	1,049,654
売上総利益	1,018,029	988,532
返品調整引当金戻入額	27,391	24,500
返品調整引当金繰入額	11,940	9,073
差引売上総利益	1,033,481	1,003,958
販売費及び一般管理費	1,007,184	989,009
営業利益	26,297	14,949
営業外収益		
受取利息	15,095	8,635
受取配当金	477	478
為替差益	—	2,953
その他	1,258	2,493
営業外収益合計	16,831	14,559
営業外費用		
支払利息	271	83
為替差損	2,510	—
投資事業組合運用損	2,927	—
その他	315	3
営業外費用合計	6,024	86
経常利益	37,104	29,423
特別利益		
保険解約返戻金	16,203	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	759
特別利益合計	16,203	759
特別損失		
固定資産除却損	—	590
店舗閉鎖損失	—	779
特別損失合計	—	1,369
税引前四半期純利益	53,308	28,813
法人税、住民税及び事業税	30,757	28,553
法人税等調整額	△928	△12,663
法人税等合計	29,828	15,889
四半期純利益	23,480	12,924

【第3四半期会計期間】

（単位：千円）

	前第3四半期会計期間 （自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）	当第3四半期会計期間 （自平成22年6月1日 至平成22年8月31日）
売上高	574,257	616,785
売上原価	291,987	319,218
売上総利益	282,270	297,567
返品調整引当金繰入額	△1,388	△2,624
差引売上総利益	283,659	300,191
販売費及び一般管理費	320,926	317,484
営業損失（△）	△37,267	△17,292
営業外収益		
受取利息	4,451	2,745
受取配当金	197	239
為替差益	—	173
その他	824	1,115
営業外収益合計	5,472	4,273
営業外費用		
支払利息	37	6
為替差損	△103	—
雑支出	297	—
その他	—	3
営業外費用合計	232	9
経常損失（△）	△32,027	△13,028
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	516
特別利益合計	—	516
特別損失		
固定資産除却損	—	590
特別損失合計	—	590
税引前四半期純損失（△）	△32,027	△13,101
法人税、住民税及び事業税	△11,309	959
法人税等調整額	△2,181	△6,780
法人税等合計	△13,490	△5,820
四半期純損失（△）	△18,536	△7,280

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	53,308	28,813
減価償却費	66,139	65,219
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△489	4,108
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△15,451	△15,426
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,151	18,021
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△11,065
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	107	6,176
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,895	8,620
受取利息及び受取配当金	△15,572	△9,113
支払利息	271	83
為替差損益 (△は益)	346	△935
保険解約損益 (△は益)	△16,203	—
固定資産除却損	—	590
店舗閉鎖損失	—	779
売上債権の増減額 (△は増加)	167,775	39,766
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△302,536	△168,153
仕入債務の増減額 (△は減少)	26,358	18,611
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△19,860	7,828
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	10,214	4,972
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△70,426	△51,753
その他	3,631	1,713
小計	△85,340	△51,144
利息及び配当金の受取額	15,059	10,235
利息の支払額	△271	△83
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△60,820	△12,196
営業活動によるキャッシュ・フロー	△131,372	△53,187
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△774,200	△1,674,200
定期預金の払戻による収入	794,800	1,274,800
有価証券の取得による支出	△420,000	△700,000
有価証券の償還による収入	570,000	640,000
有形固定資産の取得による支出	△13,056	△23,716
無形固定資産の取得による支出	△766	△1,733
保険積立金の解約による収入	29,356	—
投資有価証券の取得による支出	—	△100,932
敷金及び保証金の回収による収入	—	49,982
投資活動によるキャッシュ・フロー	186,133	△535,799

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成20年12月1日 至平成21年8月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成21年12月1日 至平成22年8月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△12,126	△13,195
自己株式の取得による支出	△30	△17
配当金の支払額	△62,849	△63,356
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,007	△76,569
現金及び現金同等物に係る換算差額	△346	935
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△20,592	△664,621
現金及び現金同等物の期首残高	827,066	1,234,318
現金及び現金同等物の四半期末残高	806,473	569,697

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

品目別売上高明細

(単位：千円)

品目		前第3四半期累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)		比較増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
フィッシング用品	ルアー用品	422,134	20.8	399,309	19.6	△22,824	△5.4
	フライ用品	426,547	21.0	427,404	21.0	+857	+0.2
	その他フィッシング用品	174,377	8.6	146,417	7.2	△27,959	△16.0
	小計	1,023,058	50.4	973,131	47.8	△49,927	△4.9
アウトドア用品	アウトドア衣料	807,962	39.7	823,574	40.4	+15,611	+1.9
	その他アウトドア用品	185,186	9.1	228,644	11.2	+43,457	+23.5
	小計	993,149	48.8	1,052,219	51.6	+59,069	+5.9
その他		16,783	0.8	12,836	0.6	△3,946	△23.5
合計		2,032,991	100.0	2,038,187	100.0	+5,196	+0.3
		(84,866)	(4.2)	(92,132)	(4.5)	(+7,265)	(+8.6)

- (注) 1. 数量については、同一品目の中でも種類が多く、かつ仕様も多岐にわたるため記載を省略しております。
 2. () 内は、輸出高及び輸出比率であり、内数であります。
 3. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。